

令和2年度第1回宮古市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和2年7月3日(金) 午後6時から午後7時30分

2 場 所 宮古市役所4階 災害対策本部室

3 協議事項

(1) 宮古市の教育の振興に関する大綱の策定について

4 出席者(8名)

• 構成員

宮古市長	山本 正徳
宮古市教育委員会教育長	伊藤 晃二
宮古市教育委員会委員	荒谷 榮子
宮古市教育委員会委員	橋本 美紀
宮古市教育委員会委員	平井 亮吉
宮古市教育委員会委員	杉本 裕樹

• 副市長

宮古市副市長	佐藤 廣昭
宮古市副市長	桐田 教男

5 事務局からの出席者

総務部長	中嶋 巧
企画部長	菊池 廣
教育部長	菊地 俊二
教育委員会総務課長	中屋 保
学校教育課長	小林 満
生涯学習課長	田中富士春
文化課長	藤田 浩司

6 傍聴人 一般：12名

令和2年度第1回宮古市総合教育会議 会議録

□ 日時：令和2年7月3日（金）18:00～19:30

□ 場所：宮古市役所4階 災害対策本部室

次 第	発言者	内 容
1 開会	菊地教育部 長	ただいまから、令和2年度第1回宮古市総合教育会議を開会いたします。私は教育委員会事務局教育部長の菊地と申します。会議に入るまでの間、本日の進行を務めたいと思いますので、よろしく申し上げます。それでは、会議の開会にあたりまして、山本市長よりご挨拶を頂戴いたします。
2 市長挨拶	山本市長	はい、今日は、私が3日間仙台と東京に出張した関係でコロナウイルスに感染していないかどうか確認ということで、テレビ会議により総合教育会議をさせていただきましたので、ご了解いただきたいというふうに思います。本日は大変お忙しい中、宮古市総合教育会議に教育委員の皆様初め関係者の皆様お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。また、教育長、そして、教育委員の皆様には日ごろから宮古市の教育の発展のために、ご尽力をいただいております。感謝を申し上げます。本日の協議事項でございますが、宮古市の教育の振興に関する大綱の策定についてでございます。昨年開催いたしました総合教育会議におきましては、本年3月に宮古市総合計画を策定した基本構想案を協議していただいたところであります。本来ならば、教育の振興に関する大綱を先に定め、その後に総合計画に反映させていくべきでございましたが、順序が逆になってしまいましたことにおわびを申し上げたいと思います。改めてここに宮古市の教育振興に関する大綱の策定をさせていただきましたと思いますので、よろしく願いをいたします。現状課題等踏まえながら市の教育行政を推進していくため、教育委員の皆様と活発な議論を交わしていきたいというふうに思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
3 教育長挨拶	菊地教育部 長	ありがとうございました。それでは次に、教育委員会を代表いたします。伊藤教育長から挨拶をいたします。
	伊藤教育長	はい、この場で失礼します。おぼんでございます。本日はお集まりいただきました。ありがとうございます。常日ごろから教育委員の皆様には、宮古市教育委員会をご支援いただきました。感謝申し上げます。また本日は傍聴の方々も多数おいでいただきました。ありがとうございます。本日の内容につきましては、山本市長の進行のもと、お手元の資料にありますように、協議事項を中心に進めてまいります。平成27年に教育委員会制度の内容が変更になりまして、その内容の中で一番大きなのは教育委員会、教育行政の責任の明確化、そして、危機管理体制の構築という文言がございますので、本日は、その

		<p>辺の柱も含めながら、そして大綱の内容についてのご審議もそうなんですけども、法律上の文言の最後のほうにはですね、市長部局と今まで以上に連携するというふうなこともございますので、きょうは副市長さん初め、部長さん方、課長さん方もいらっしゃいますので、教育行政に関する内容は、市長部局と今まで以上に連携するというふうな視点も含めて、ご意見いただいて、なお傍聴の方々も含めて、お聞きになって、この後、もしご提言なりお考えがあれば、教育委員会のほうにもぜひご意見等いただければありがたいと思いますので、限られた時間ですけれども、どうぞよろしくお願ひします。</p>
4 協議事項 (事務局からの説明)	菊地教育部長	<p>それでは本日の協議に入りたいと思います。議事の進行につきましては、宮古市総合教育会議運営要領第4条の規定により、山本市長に、議長をお願いいたします。</p>
	山本市長	<p>はい。それでは、私のほうで会議の議長を務めさせていただきたいと思います。議事の進行につきましてご協力をお願いいたします。それでは、早速でございますが、次第に沿いまして、協議を進めてまいります。協議事項でございます。宮古市の教育の振興に関する大綱の策定についてでございます。事務局の方より順次説明をお願いいたします。</p>
	中屋課長	<p>教育委員会事務局総務課長の中屋と申します、よろしくお願ひいたします。お手元に配付しております。A4横の資料をご覧願ひします。本日ご協議をお願いいたします、宮古市の教育の振興に関する大綱につきまして、その概要をご説明いたします。本年3月に策定いたしました宮古市総合計画の教育分野における基本構想を検討する際に、教育委員の皆様には、協議をさせていただきました。その総合計画の基本構想である「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を教育の振興に関する大綱の基本施策とするものでございます。持続可能な地域社会を形成していくためには郷土を想い、愛する気持ちを必然として自己実現のための夢や希望を持ち、歩んでいく人づくりが求められています。市民一人一人の多様な学びが次世代に伝わり、繋がっていくことを目指すこととございます。その実現のため、次の四つの施策を掲げ各事業に取り組んでいくものでございます。一つ目の施策は学校教育の充実でございます。児童生徒の健康な体・豊かな心・確かな学力の定着を通して、社会を生き抜くための生きる力を育む学校教育の充実を図ってまいります。二つ目は、生涯学習の推進でございます。生涯を通じて自分にふさわしい方法で自由に学習機会を選択し、学び続けることができる学習環境の体制づくりを展開してまいります。三つ目は、スポーツ・レクリエーションの振興でございます。誰もが気軽に取り組める生涯スポーツの促進とともに、健康寿命の延伸の充</p>

		<p>実を図り、各種スポーツの振興を図ってまいります。四つ目の施策は文化の振興でございます。貴重な文化財を保存活用し、郷土芸能を後世に伝え残すための施策を展開するとともに、地域文化の振興と創造を図ってまいります。以上が教育の振興に関する大綱の概要でございます。次に、ただいまご説明いたしました四つの施策の重点項目につきまして、それぞれ担当課長から説明をさせていただきます。</p>
	<p>小林課長</p>	<p>学校教育課長小林満と申しますよろしくお願いたします。私のほうからは施策の1、学校教育の充実について説明いたします。基本事業として、確かな学力・豊かな心・健康な体を育む教育の推進、特別支援教育の充実、相談支援体制の充実、教育環境の充実、学校施設設備の充実の5点を掲げております。確かな学力を育む教育の推進については、学習指導要領につきまして、令和2年度から小学校が、令和3年度から中学校が完全実施となります。学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、幼小中が連携しながら、確かな学力を育む教育を推進したいと考えております。豊かな心を育む教育につきましては、復興教育を中核に据え、ふるさと宮古に誇りを持ち、他人と協調し、相手を思いやり、感謝する気持ちなど、豊かな心を育む教育を推進してまいりたいと考えております。健康な体を育む教育の推進につきましては、生涯を通じて活力ある生活を送る基礎となる健康な体を育む教育を推進いたします。2点目、特別支援教育の充実についてです。こども課や他機関と連携を図りつつ、特別な支援を必要とする子どもに対し、適切な支援体制の継続を図ってまいります。3点目、相談支援体制の充実についてです。イジメや不登校などの事案に対して関係機関と連携して対応してまいります。特にも、災害により影響を受けた子どもたちに対し、長期的な心のケアを継続して行ってまいりたいと考えております。4点目、教育環境の充実についてです。複雑化多様化する学校現場の課題解決に向け、社会に開かれた教育課程を実現するために、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援してまいります。また、望ましい学校規模という視点で小・中学校を適切に配置してまいります。さらに、経済的な理由や地理的な条件により就学が困難な子どもに対して援助や支援を行ってまいります。また、通学路の安全確保も含め、子どもの教育環境の充実を図ってまいります。最後に5点目、学校施設設備の充実についてです。子ども一人ひとりの情報活用能力を向上させるために、GIGAスクール構想を推進することを通して環境の整備、に努めてまいります。また、児童生徒が適切な情報の選択・活用と同時に犯罪の未然防止に努めていけるよう情報</p>

		<p>モラル等を中心とした取り組みを通して、未然防止に取り組んでまいりたいと考えております。最後に、安全で適正な学習環境を確保するために、学校の数、施設の改善等につきましても推進してまいりたいと考えております。以上です。よろしくお願いいたします。</p>
	<p>田中課長</p>	<p>続きまして、施策の2、生涯学習の推進について説明をさせていただきます。生涯学習課長の田中でございます。よろしくお願いいたします。基本事業7点掲げさせていただきます。それぞれ重点項目についてご説明いたします。まず1点目、推進体制の充実があります。庁内組織である生涯学習推進本部そして民間委員の生涯学習推進会議により全市で生涯学習を推進する体制づくりを図ってまいります。2点目、学習環境の整備でございます。計画的に社会教育関連施設の整備を行ってまいります。令和2年度は新里生涯学習センターの屋根改修、田老公民館のトイレ洋式化などを行ってまいります。3点目、読書まち宮古の推進、幅広い世代の読書環境作りに取り組んでまいります。ブックスタート、お話し会などの読み聞かせ活動、図書資料の充実、また、移動図書館の更新を計画してございます。4点目、学校・家庭・地域の連携と協働でございます。コミュニティ・スクールの導入に取り組んでまいります。地域住民が学校運営に参画する地域学校共同活動を拡充してまいります。5点目、家庭及び青少年の学習活動の支援、乳幼児期・幼児期・小中学校期と成長過程に合わせた家庭教育学級の開催、各公民館、生涯学習センターにおける青少年の体験学習講座の実施など行ってまいります。6点目、成人の学習活動の支援、生涯学習市民の集いなど、生涯学習の普及・奨励、また、各公民館、生涯学習センターにおける各種講座や、高齢者大学による学習機会の提供と活動の場の提供、また、成人式の開催など行ってまいります。7点目、生涯学習関係活動団体の支援、生涯学習活動を行う団体への講師派遣。また、市政に関する市職員の出前講座などにより、生涯学習活動に取り組む団体への支援を行ってまいります。続きまして、施策3、スポーツ・レクリエーションの振興でございます。5点、基本事業に掲げてございます。1点目、推進体制の充実。体育協会など関係団体との連携、情報発信、また、官民連携による宮古スポーツコミッション連絡会議による合宿誘致活動など、スポーツツーリズムの推進を図ってまいります。2点目、指導者等の確保育成。スポーツ少年団の指導者などに対する最新のスポーツ医学に基づいた研修会など、指導者研修の充実。また、スポーツ大会のボランティアなどスポーツを支えるボランティアバンクの創設を行ってまいります。3点目、活動機会の提供。競技団体と連携し、ライフ</p>

		<p>ステージに応じたスポーツ・レクリエーション活動の推進。また、健康寿命延伸に向けた運動による健康づくり推進事業、総合型スポーツクラブの育成普及を推進してまいります。4点目、選手の育成強化。各競技団体の強化事業の推進、また、日本体育大学との連携協定に基づくジュニアスポーツドリームキャンプ、児童生徒の東北大会以上の大会参加に対する補助金などにより人材育成を図ってまいります。5点目、スポーツ環境の整備。計画的にスポーツ施設の整備を行ってまいります。令和2年度は総合体育館の照明のLED化、また、公園の交流会館トイレ改修工事などを行ってまいります。以上、説明とさせていただきます。</p>
	藤田課長	<p>それでは、施策の4、文化の振興について説明させていただきます。基本事業に掲げました3点について、それぞれ令和2年度から取り組む主な内容について、説明させていただきます。芸術文化の推進につきましては、新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止や延期を余儀なくされておりましたが、制限が緩和されたことにより、徐々に市民文化会館の利用申し込みも増えております。文化課の事業も感染対策が講じられるものから順次実施してまいります。また、今年度市民文化会館大ホールの耐震天井への改修に係る基本設計を委託しておりますが、令和3年度には実施設計、令和4年度に改修工事を実施する予定となっております。文化財の保存と活用についてですけれども、来年度から4カ年で文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。この計画は文化財の保存活用に関する基本的なアクションプランで、今年度は岩手県が大綱を策定いたします。大綱を勘案して、令和3年度から策定に取り組むものでございます。また、今年度から5カ年かけて、過疎化や高齢化に伴い消滅の危機にある郷土芸能を後世に継承するため、映像記録保存する事業に取り組む予定でございました。ただ、今年度各地域で開催される夏祭りお盆の行事、秋祭りなどが、コロナの関係で中止や規模縮小の動きがありますことから、事業のローリングを含め、現在検討しているところでございます。3点目の史の継承につきましては、引き続き資料収集や目録の作成を進めます。また、現在、国土地理院がホームページで公開しております。全国の市町村の災害伝承地に宮古市が3カ所登録がございますけれども、今年度中に追加で約30カ所登録を目指すところでございます。以上です。</p>
(1 学校教育の充実)	山本市長	<p>はい、ありがとうございます。それではですね、これを全部一気にやると大変ですので、1項目ずつご意見をいただいきたいというふうに思います。まず、最初にですね、施策の一つ目の学校教育の充実についてですね、教育委員の皆様からご意</p>

		<p>見を伺いたいというふうに思います。それではですね、最初に、荒谷委員さんからお願いしてよろしいでしょうか。</p>
	荒谷委員	<p>はい。荒谷です。よろしくお願いします。まず宮古市の教育の振興に関する大綱についての基本目標、「郷土を誇り次代につながるひとづくり」というこのテーマの基本目標が私はとても感動しております。新しい感じがするし、もし、教育活動するときに何か迷いが生じたら、このテーマに戻る。そうすると、何か、また道が開けてくるんでないかなって感じがしまして、まずこの基本目標が私はよかったなと思ってます。それから学校教育充実について、大きく五つのことを考えてきましたので、感想になるか、お話ししたいと思います。まず一つ目ですが、学校は通学路を含めて安全であり、子どもたちが楽しく学び、生活し、加えて自分の居場所があることが大事だと思います。そして学校では、知・徳・体をバランスのとれた人間を育成するところであり、人間教育っていうんでしょうか、というふうに私は捉えています。2点目、学校の先生方は本当に深い愛情をもって子どもたちに接しているように感じております。学習指導要領が改訂され、子どもたちのために、わかる授業をどんどんつくって、頑張っていたきたいなと思います。わかる授業をつくるために努力してほしいのですが、わからない子どもがわかったと言えるような授業を進めてほしい、つくり上げてほしいなと思います。その授業をする上で、何かこう教材とかいろいろ必要なものがあれば、教育委員会でたくさん出していただきたいなと思います。次に、少子化についてですが、皆さんご存じのとおり子どもの数がどんどんすごい勢いで減ってると思います。こういうとき、みんなで知恵を出し合って、創意工夫をしながら、子どもたちを育てていくべきだと思います。具体的には、各学校でやられてると思うのですが、縦わり活動とか、それから他校との交流学习とかは、支援学校とも交流すればいいのかなと思います。それから幼小中の連携といろいろ創意工夫をして、子どもたちを育てていただきたいなと思います。最後に、3点目でしょうか。最近特に考えていることなんですけれども、学校が長く休みになったり、いろいろ子どもたちが振り回されている部分も日本中であるわけですが、やはり休みのときに、ただぶらぶらと過ごすのではなくて、自分で課題を見つけて自分で解決する自学学習できる子どもを育成する必要があると思います。そしてあわせて、基本的な生活習慣の徹底、手洗いうがいそれに最近は換気やマスクがプラスされていますが、こういう基本的なものをしっかりと定着させたい。させていただきたいと思います。それからもう1点、想像力の育成です。人の痛みがわかる想像力、それか</p>

		<p>ら本を豊かに読める想像力、自然災害の怖さを想像する、そういう力などを身につけてほしいなと思います。学校だけじゃなくて、これは大人の責任だと思しますので、みんなで宮古の子どもたちを育てていけたらいいなと思います。以上です。</p>
	山本市長	<p>はい、平井委員さんお願いします。</p>
	平井委員	<p>はい。私はその学校教育に関して、やっぱり教育者ではないので、友達や知人いろいろ聞きまして、単純にマンパワーが足りない、そこを補えるのはやっぱり設備のほうも充実してほしいと、私の子どももそうだったのですが、病気で倒れたり、あと抜け出したりとかという子もいると聞きます。クラスから飛び出して先生が追いかけるんですけど、職員室にホットラインも何もないので、いざ上司と連絡がとりづらいと、そこは設備でどうにかなるんだったらそういうところもうめてほしいということ。あとは今、大型プロジェクターとシルクスクリーンでよく授業をしているということだったんですが、大型テレビがあるとそのままパソコンからダイレクトにつながると。その準備が5分、10分は絶対かかるようです。それが積み重なると、授業ももっと充実できるんじゃないかなという話も聞きました。具体的にはどうすればというのはお金の話になるので、難しいとは思いますが、それも、宮古に赴任したら楽になると、先生の負担が少しは減るっていうのも、宮古に来たいなって先生方にも思わせたいなと思います。あとは令和12年度に1万人減少するっていう、人口減少は結構ショックな数字でして。今ですとコミュニティ・スクールが先生方に郷土愛を育む事業をやってくれというのは、どうしてもカリキュラムが増えるのがわかるので、コミュニティ・スクールを活用して、地域の格好いい大人を集めて子どもたちに見せてやるのも手なのかと思います。以上です。</p>
	山本市長	<p>はい、橋本委員さんお願いします。</p>
	橋本委員	<p>はい。学校教育の充実というところで考えております。学校教育として親として、子育ての最終目標ゴール一つは、生きる力をつける、育むというところになるのかなと思います。その生きる力に考える力と想像する力で生きぬく力を育んで欲しいです。学校では、整った設備環境の中で、確かな学力をつけてほしいですし、あと部活動行事等で希薄になりがちな人間関係を、人とかかわりを、コミュニケーションを多く持ってつかめてほしいです。家庭では、生活の基盤であることですし、子どもからの愛情を受け入れ、惜しみなく愛情をそそいでここでコミュニケーションをたくさんとってほしいです。愛情で支えられることが人を強くすると考えます。今回、市外にいる学生に給付金、うみねこ宮古の潮風便が企画になりましたけれども、と</p>

		<p>でもアイデアにあふれた企画であると思います。この企画を知ったときに、東京にいる娘に伝えました。そしたらすぐにラインがかえってきて「優しいまちだね」と、返事が来たことに私もちょっと感動をしました。それで大きなものに守られている、支えられているといういろんな想いが、多くの学生に伝わっていると思います。感謝してると思います。これもまた教育ではないでしょうか。彼らの生き抜く力が今後の「生き抜くまち宮古」の原動力となってほしいです。以上です。</p>
	山本市長	はい、杉本委員さんお願いします。
	杉本委員	<p>はい、杉本です、よろしくお願いします。私のほうから学校教育の充実の部分で、教育環境の充実という部分をお話をさせていただければと思っております。複雑化多様化する学校現場の課題解決に向け、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援するということをございます。保護者の方や地域の方々がどんどん学校の運営に対して、入っていける事業なのかなと思いました。そこら辺で逆に学校現場、教職員の先生方に負担にならないようにですね、うまくコントロールをしていかなければならない1つの事業なのかなと思っております。その辺に十分注意した上で、この事業がうまく展開していくことを願っているところであります。以上でございます。</p>
	山本市長	はい、伊藤教育長お願いします。
	伊藤教育長	<p>はい、昨日、今月の定例の校長会議があり、市内の校長先生方が集まっていろいろなお話がありました。そんなことで今喫緊の課題になっているのは、コロナの関係で1学期に体育祭運動会等縮小になったり、あるいは修学旅行の延期等々がありました。その内容は、各学校の校長先生方が、いろんな知恵を出し合って2学期の教育課程を今まさに修正しながらやっているところということに大変感謝を申し上げました。私のほうからは、先ほど平井委員さん、橋本委員さんに係るのですけれども、令和2年度から国の制度としてコミュニティ・スクール構想が入ってきます。これは、従来学校で完結できなかったことも含めて、今まで以上に地域の方、保護者、そして行政の市長部局も含めてですね、学校を支えていくっていう大きな固まりになります。それで、やはり1番のネックはマンパワーですので、できるだけいろんな支援する方々に学校に入ってもらい。社会に開かれた学校っていうのは、カリキュラム上の開かれた学校じゃなくて、地域の人材もどんどん入って、高校でもやってるオープンスクールの、いつでもどこでも先生方にサポートできる体制があればいいなと思っておりますし、来年度から市内の26校の学校では具体的な取り組みが始まりますので、令和4年に向けてスムーズな移行ができるように、来年度の活動について十</p>

		<p>分に校長先生方中心にやっていきたいと思っておりますので、このところは、教育環境の充実としてとらえるのであれば、コミュニティ・スクール構想について、ぜひ市長部局の部課長さん方にもご支援いただいて、宮古に住んで良かったという子どもたちの育成のために、ぜひお力添えをお願いしたいと思っております。以上でございます。</p>
	<p>山本市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。それでは私のほうからも少しお話をさせていただきたいと思えます。まず今までも生きる力ということで、確かな学力・豊かな心・健康な体のところをしつかりですね、教育してきていただいております。今回のコロナウイルス感染に関してもですね、この要望に対しても、そういう健康教育、それから食育等も含めてですね、これは効果が出ているのではないかなというふうに見ています。それからコミュニティ・スクールなんですけど、私は昔からですね、学社融合ということですね、勉強させていただいております。やっとなんかですね、社会も学校も一緒になって子どもを育てるという方向に向かっているということですね、大変うれしく思っています。やはりそうあるべきだろうというふうに思っています。それから我々、市長部局とすればですね、いろんな教育は教育委員会中心にさせていただくということになりますけど、マンパワーの問題でやっぱり人が欲しいということでこの間ですね、学習の支援員、それから図書館支援員、そして特別支援の教育支援員等を配置させていただいております。これらに関してこれから必要があれば増員ということも考えられると思えますし、また学習面で時間がないためになかなか学習が進まない子どもたちに対して今放課後学習をしていただいております。これにもまだまだ足りないようであれば、これにも努力をしていきたいというふうに思っております。これが計画した住みよいまちづくりにつながっていくものだと思います。それから学校の施設に関してトイレの洋式化、それから我々の小さいところは冷房を余り考えなくてもよかったんですが、今の時代はですねやっぱり熱中症とかですね、地球温暖化のせいもあるんでしょうけど、やっぱり冷房の設備というのは大変必要になってございますので、これはできるだけ早くすべての学校に整備できるようにしていきたいというふうに思っています。いずれにしても学校が、そして子どもたちが、そして教職員が働きやすく、あるいは先ほど荒谷委員から話がありましたが子どもたちが居場所を持てるような、状況を作っているのを我々市長部局は支えていきたい、というふうに思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。そのほかにもし、話し足りなかったらどうぞ。なければそれからもう一つ、この生きる</p>

		<p>力の中にこの三つをあげてますけれども、やはり命を守る教育というのが命題ではないかなと思っています。イジメられたりですね、宮古ではそんな無いのですが、ほかのところではイジメが原因で亡くなられる方がいたりします。それから、さまざまな災害が起こっておりますので、こういうときに命が失われないようにするためには自分はどうすればいいのかなという、そういうのも必要なのではないかなと思っております。その辺もですね、この会合の中に組み入れていただければなというふうには思っております。よろしいでしょうか。それからもう一つ、GIGAスクールについて、これからやっぱりネットで、今回のコロナウイルスに関してネットの重要性が非常に高まったと思っております。これは早急にしっかり整備していくように、前倒ししてでもやっていきたいものだと考えておりますので、教育委員会と一緒にやりながら進めてまいりたいというふうに思っております。あとはよろしいでしょうか？では、次に移らせていただきます。次に、生涯学習とスポーツ・レクリエーションを一緒にしたいと思っておりますので、この2・3に対しまして、ご意見を伺いたいというふうに思います。それでは、杉本委員をお願いします。</p>
<p>(2 生涯学習の推進) (3 スポーツ・レクリエーションの振興)</p>	<p>杉本委員</p>	<p>はい、私の方から生涯学習の部分になります。生涯学習の家庭及び青少年の学習活動の支援ということで、その中の一つに親同士の交流の場の提供もするというところでうたっております。これからそのとおり少子化の問題で生徒数が減ってくるようになりますので、逆にPTA同士の交流事業を通してやっていくことで、子どもたちが中学校・高校に進んでいく、進路に対する不安の解消の一つになってくればいいのかなと思っております。また、スポーツ・レクリエーションの振興になりますが、今までどおり、体育協会さんとか、関係団体と連携協働して研修の事業、充実を図っていくということで、現在、高校生に関しては、部活動に携わらなくてもいいというような県のほうから、今年から部活に所属してない子どもたちが高校生でいることを聞いてました。このスポーツに対してかかわる機会が今後減っていくのが非常に怖いなと思うところがあります。スポーツ離れが非常に心配になりますので、その辺もぜひ小・中学校が部活動に興味を持つような、そんな事業が宮古市としてやっていければいいのかなと思っております。以上でございます。</p>
	<p>山本市長</p>	<p>はい、橋本委員さんをお願いします。</p>
	<p>橋本委員</p>	<p>はい、生涯学習の推進ということで、読書まち宮古について考えました。今は読書を楽しめる時代ですので、図書館の利用もそうですか、電子辞書だったり、アマゾンで購入すると次の</p>

		<p>日には手元に本が届くという環境です。余り読書に興味がない人にも、図書館に来てもらう、図書館を通して本を読むきっかけになればというところを考えると、ストレートに読書しましょうということではなく、別のアプローチから図書館を活用してはどうかと思います。空間として居心地良い図書館、本を読みに行くだけではなく、気持ちを落ちつかせるような空間としての図書館をそこから読書に導かれていければいいのかなと思います。f分の1揺らぎの自然音とか、川のせせらぎとか、鳥のさえずりとか、微かな音でいいので流してみたり、あとは木の香りがする空間を図書館のどこかスペースとして設けたり、そういう別のアプローチから図書館の利用、そこから読書という考え方もありだと思っております。企画として余計なことなんですけれども、誰々さんオススメの本とか、あと、本屋大賞ノミネート作品とかそういうところを活用したり、例えば山本市長のお勧めする本とか、どこどこ小学校校長先生のオススメする本、県内でいえば大谷君とか、有名であれば有名なほど食いつきがあっていいかなというところはあります。実際自分もミーハーなのでそうなんですけれども、そういうところを利用しつつ、アイデアを出しながら読書の推進が進められていけばいいかなと思います。興味を深めて人生のヒントが集まってる本に触れてほしいと思います。それともう一つ、スポーツ・レクリエーションですけれども、新しいスポーツを多く、宮古市も取り入れてほしいというところで、ロッククライミングとかスケートボードの練習場がないということで駅前のロータリーであったりとかシーアリーナでやったりする方がいらっしゃるのを聞いたのですけれど練習場として、旧市役所跡地に設けられたらいいかなと思っております。</p>
山本市長		はい、平井委員さんお願いします。
	平井委員	<p>はい、私も図書の方で、子どもの読書感想文は学校主体で推進をしておりますので、そこはやっぱり子どもたちが図書を好きになるのは、それぞれ個々の差になるのですが、大人の読書好きは結構宮古の図書館使ってるように見えます。私もたまに行くんですが、そこで、大人の読書感想文発表みたいなものを市長賞として酒1本とか、トラウトサーモン1本とか商品を出してやってもいいのかなと思っております。宮古が舞台の漫画や小説とかを市民の人たちに創作してもらって、それに対しても商品を出してみたりとかも面白いと思います。スポーツのほうですが、娘が今ラグビーをやっているのですが、屋外のスポーツについて、雪もないですし、天気もいいですし、芝が凍らないので宮古は県内で1番やりやすいです。ただ、どうしてもそういうスポーツは内陸のほうが強いので、その内陸の子たち</p>

		<p>を誘致したいなと思います。そうすると、こちらのほうの底上げもできるので、高校生中学生の誘致、社会人でもいいですけども。宮古ってスポーツの町だっけよ、と言われたいですね。あとはですね、小学校の水泳記録会がなくなって、確かに水泳の授業も先生方のすごい負担で余りとれないのもわかります。ただ現在、サンスポーツのプールの方で子どもたちがどんどんやめているそうです。やっぱり目標がなくなったので。宮古人なのに泳げない子が結構多いんですね。親が通わせるのは手間がかかりますし、お金もかかるし、その辺の理由もあってか、基本的に泳げなくなってる子が多いなっていうのがここ数年、本当に見えます。宮古人なのに、と思うとくやしいですね。以上です。</p>
	山本市長	はい、荒谷委員さんお願いします。
	荒谷委員	<p>生涯学習の推進について一つだけ。本好きな子どもたちを育てたいと思います。やっぱり、本を読む子は心も豊かだったり、優しさがあったり、思慮深さみたいないろんな力をつくのが読書だと思いますので、みんなで進めていきましょうっていうところ。それからいろんなアプローチがあるかと思いますが、ちょっと不可能かもしれませんが、今の宮古市立図書館で工夫して外でそよ風に吹かれながら読書ができないのかななんて、そういう夢を持っております。次にスポーツレクリエーションの振興についてですが、先ほど平井委員さんも話されたんですが、やはり宮古には海があるので、具体的にはちょっとまだ考えてないですが、海に関するスポーツもう少しあってもいいのかなと思います。以上です。</p>
	山本市長	はい、伊藤教育長お願いします。
	伊藤教育長	<p>はい。生涯学習について1点申し上げます。生涯学習関係団体の支援にかかわって、特に市のPTA連合会、学校保健会そして、教育振興等をやっている学校さんを含めてこの三者が一緒になって、サンライズミーティングを立ち上げて非常に内容的にも効果、高感度が高かったように思います。しかし、今年はコロナウイルスの関係で中止になりますけども、来年度以降、このコミュニティ・スクール構想とあわせて、保護者同士、それから学校保健会を中心とした健康教育、そして、教育振興運動もこの後、コミュニティ・スクール構想にも全部入ってきますので、各団体が持ち味を生かしてコミュニティ・スクール構想にリンクするような活動がさらに継続できればいいなと思っております。もう1点スポーツ・レクリエーションについても、先ほどから話に出てる子どもたちの減少です。今の0歳児が300人ほどです。今、中学校3年生が400弱。これが大体300まで落ちていきますので、当然小・中学校の学校数とかかわるんです</p>

		<p>けども、先ほど杉本委員さんからも出たように、小学校のスポーツ少年団で野球を単独でできるのは、磯鷄小学校とか千徳小学校。それ以外は、花輪小学校に新里方面あるいは重茂方面から来た連合チームですよ。崎山もそうですし、田老一小さん含めて。ですから、まず子どもたちがやりたいスポーツを保障するための団体のあり方、そしてリンクするのは中学校の部活動です。今度7月23日24日に柔道以外の競技を実施するというこ とで、宮古一中の先生を中心に中体連が動いていまして、非常にいい形で対外試合もやっております。怪我のないように7月23日24日実施できればいいなと思っていました。そしてそのあと9月には新人大会があります。このところでも、1年生2年生だけで部活が単独で持てないのがかなり出てきます。将来的な部活動のあり方はスポーツ審議会でもよく話題になっています。それから、県の中体連では原則全員加入となっています。原則ですので。ただいろんな事情で、私は原則に入らないと。例えば、海のスポーツのサーフィンだったり、それからお父さんお母さんがやってるスポーツに中体連の関係してる10種目以外でやりたいっていう子もいます。そういうふうな多様な考えも出てるっていうことも含めて、部活動のあり方は高校も含めてですね、宮古市にとって先ほど出た海のスポーツについても、どういうふうなスポーツがいいのかっていうこと。ただ子どもたちのニーズは多様に広まっていますので、これをどういうふうに整合性持ってやってるのか、というのは大きな課題だと思うので、常に大人目線で私たちが子どもと一緒に部活動のあり方については、継続してお話し合いをする場が必要だなと思っております。以上でございます。</p>
	<p>山本市長</p>	<p>ありがとうございます。はい、学校教育よりも、生涯学習の話になるとボリュームが大きくなりますね。やっぱり学校教育だとフロー的なものがあるのですよね、難しいのかなというふうに思っておりましたが、いろんなご意見が出て、本当にそうだなというふうに思っておりました。市長部局としてはそれをどのように具体化したり実現するためには、設備、あるいは施設を有効活用するかという意味でですね。今度創生センターとして、旧警察署の建物をですね、利用できるようになりますので、またこれが幅が広がっているのかなというふうに思っております。また宮古ならではの図書館というのをですね、この際何か特徴のある図書館みたいなのをやってもいいのではないかなと。もし、設備なりを変えるんであれば少しお金をかけてでも、そういう机の前に座って本を読むというだけじゃなくて、のんびり本が読めるとかですね。いろんな音楽を聞きながら、いい雰囲気の中で読書ができる場所と考えていってもいいのかな</p>

(4 文化の振興)		<p>というふうに思いました。それから子どもは子どものスポーツ、大人は大人のスポーツというようにしないで、親子でやるスポーツなんていうのもうまく取り入れていけばいいのかなというふうに思っていました。それから学びは一生続くものでありますから、無理なく自分の性格・スタイルに合わせながらいろんなものを通して、みんなとコミュニティーを形成しながら取り組めるように整備をしたい、と思っております。まず教える人の人材も非常に大事なんだろうと思っております。なのでそれらも含めてみんなでやりたいことを市当局としては実現する方向に向かうと。そして、唯一宮古ならではの、っていうのをつくっていききたいものだなというふうに思いますし、またほかの地域との交流、それからスポーツ合宿等進めていますので、それらを含めてもっと幅を広くしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。またスポーツ健康寿命の延伸にもかかわることありますので、公園等を使いながら進めてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひをいたします。次に文化の振興についてですね、お話を伺いたいというふうに思ひますので、また、橋本委員さんからお願ひできますでしょうか。</p>
	橋本委員	<p>はい、文化の振興ということで、芸術文化についてです。市民文化財とか市民劇、多くの市民が参加されて見ているこちらも感動しました。今後も活発な活動を期待しています。私ごとですが以前、文化祭でステージに立ったことがあるんですけども、泣いて笑って緊張して楽しかった思い出があります。皆さんにもそのような感動を味わってほしいですので、これからたくさん市民が文化祭とか市民劇に参加したり、見たりして心を豊かにしていただければと思ひます。多くの企画を楽しみにしています。文化財についてですけども、学校の遠足とかで必ず訪れてほしいと思ひています。温故知新という言葉があるように、歴史とか先人の教えからきっと柔軟な発想を持ってこれそうな子どもたちですので、何か新しい発見とか古いものを見て歴史にふれて、新しい何か発表してくれるのではないかと期待しています。以上です。</p>
	山本市長	<p>はい、杉本委員さんお願ひします。</p>
	杉本委員	<p>はい、私のほうから1つだけ、橋本委員と同じような形になるんですが、今年の2月に開催された市民劇の1部分を、私も見させていただきました。非常に心から感動した一つの事業だったなと思ひておりました。まさに子どもから大人まで市民が参加して、最高の世代間交流ができる事業だったなと思ひました。これからも心の復興をテーマにした、継続事業を期待していきたいなと思ひておりました。以上です。</p>

山本市長	はい、荒谷委員さんお願いします。
荒谷委員	はい、2点お話ししたいと思います。小さな学校の閉校が続いてるわけですがけれども、その中には郷土芸能があるわけです。それで地区の人たちとお話すると郷土芸能を何とか残したいという切なる願いが私のところに届きます。なかなか難しいですが先ほど映像で残すような話もあったんですけども、まず、地域の人々の気持ちを大事にしながら、何とか残す方向で進めていきたいなと思います。それから文化財ですけども、小国分館ですか、莫大な文化財を各学校に貸し出すっていうんですかね、学校で授業の中でも使えるんじゃないかなと思いますので、その辺のPRも必要かなと思います。以上です。
山本市長	はい。平井委員さんお願いします。
平井委員	はい、文化の振興ですか。それこそ市民劇、私も見ました。とても凝った作りだなと思います。2年連続で見ましたが、本当にこれもお金がかかっているんだなって思いました。これも映像にできないかなと思ったりもします。せっかくあそこまで作り上げたんですから。以前、青年会議所の人たちが主催で「あの夏、タイムマシーンにのって」だったかっていうもののDVDが図書館にあるんですが、それをせっかくつくったので市民劇も撮って、図書館でDVDの貸し出しをすればもっと広く周知できるんじゃないかなと思ったりもします。あとは、映画のロケもしてもいいんじゃないかなと思います。そうすると、交流人口も増えるのかなと思ったりもします。簡単にはいかないと思いますが、そこから立ち直っていくっていうのも映画にできるんじゃないかなと思います。以上です。
山本市長	はい。伊藤教育長お願いします。
伊藤教育長	はい、先ほどから言っているとおり市民文化会館の事業は大変好評でございますので、市民劇を初め、それから芸術文化の方の関係で申し上げた復興寄席も含めて、あと佐渡裕さんの公演、スーパーキッズも含めてですね非常に集客もある事業です。コロナウイルスの自粛が終わってから、来年度に向けて、市民文化会館の事業については、市長部局の皆さん共々支援をしていく必要があるなと思います。それから、先ほども出てましたけれども、かなり後継者が厳しくなってきたる民俗芸能の映像の残し方っていうのは喫緊にやらないと、と思います。28団体のいろんな団体が加盟してる協議会があるわけですがけれども、やはり高齢化、そして後継者不足っていうことは、郷土芸能にかかわらず、いろんな分野でもありますので、早目に画像を処理して映像を残すということが私たちに課せられた大きな責任かなと思っておりますので、これまた市長部局とも連携しながら次の世代へつなぐための映像を残していきたいというふうに考

		<p>えております。以上でございます。</p>
	<p>山本市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。先ほどの市民劇であります、平井委員さんが心配しておりましたが、DVDにしっかりまとめております。モノはありますので、貸し出しができるかどうかだけ確認すればよろしいかと思えます。そこに桐田副市長さんがいると思えますので、桐田副市長さんに任せて確認してもらってください。それから、市民文化会館は指定管理に出して坂田さんをはじめ、すばらしく運営していただいているので本当に感謝したいと思います。そこに2回ほど私も出させていただいたんですが、無くてもいい場面ですけれども何とか場面をつくって出させていただいたのですが、いろんなことを活動することによってですね、いろんなつながりが出てくるのかなと思えます。ただの劇じゃなく、オーケストラが入ったり合唱が入ったりするのはなかなかないのですばらしいです。それから出演しない裏方さんがすごいですね。あの人たちがいなければ舞台はできないので、そういうものもあったりして、みんなの総合力みたいなものがああいうところに出てくるのは宮古として非常にうれしいことだというふうに思っております。そして文化ですね、やっぱり歴史が1番大事ですね。そんな歴史の中には民俗芸能とかも入るわけですよ。ですから我々がこうやって生きているのは昔の人達がどういう生活をしてきたか、あるいは災害に対してどうやって打ち勝ってきたのか、そういうものが全て入ってるわけなので、我々はしっかり宮古の歴史というものを学んで郷土を誇る。そして、次の世代に我々は社会をつないでいくんだ。そういう子どもたち、あるいはそういう人たちをつくっていくんだ、みんなで作くり上げるんだ。そういうのが、自分の生まれてからの肯定感になると思うんですね。それから最初に中屋課長がお話ししました、郷土を誇るという意味、そしてその郷土を誇るっていうことは自分の生まれたときから今まで育ててきたものを肯定したうえにあるんだというふうに私は解釈していますので、ぜひみんなでそういう子どもたち、あるいは自分たちもそういうふうに社会を生きていきたいものだ、というふうに思っておりますので、その点を私のほうからは言わせていただきたい。そのためにさまざまな環境をつくっていくのが、私ども市長部局の役目ではないかなと思っておりますので、教育委員会が存分に教育の部分で力を発揮できるようにこれからも我々はしっかり支えていきたいというふうに思っております。ここまでで言い足りないことがあればどうぞ（特になし）。それではですね、今まででた内容を事務局はこの大綱の中に取り込んでいただきたいと思えます。そして、それができましたらもう一度、各委員の皆さん、そして私とそ</p>

		<p>れを確認の上、大綱を決定させていただきたいというふうに思っておりますが、皆さんそれでよろしいでしょうか。はい、それではですね、今までのデータやご意見等を踏まえて、この案に追記をしていただいて、再度、教育委員の皆さんと私と内容をチェックした上で、大綱を決めさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。はい、ではこのようにさせていただきます。よろしく願いいたします。それでは、次に、その他であります、皆さんから何かございますでしょうか。</p>
5 その他	荒谷委員	<p>はい。荒谷ですけれどもよろしいでしょうか。宮古市の防災教育について少しお話ししたいと思います。実は今年1月7日、宮古市教育研究所の研究発表会が開催されました。そのとき研究紀要第87号では防災教育について、実践してる小学校なんですけども、まとめが掲載されておりました。タイトルは「災害から自らの命を守り抜く児童の育成」、サブタイトルは「地域の実情に合わせた防災教育の充実」となっております。大変わかりやすく、1年を通して学校と地域が協力し合って頑張った実践が掲載されております。やっぱり防災教育は、大切だと叫ばれておりますが、この学校のように、学校だけじゃなくて地域を巻き込んだ防災教育。こういうことがありましたので、皆さん機会がありましたら、ぜひ1回見ていただきたいと思います。それから、2点目ですけども、東日本大震災の後に宮古市に着任した、ある学校の女の校長先生の言葉を紹介したいと思います。被災地には、子どもたちに伝えるべき大切なことが多くあり、例えば町並みの変化一つとっても、1年後2年後の様子が変わる、この変化に気づかせる感性を育てることが大事である。そして記録、小学校であれば、作文になるかと思いますが、記録として残してつなげていくことがとても大切だと思うと話しておりました。全く同感です。今、災害に対する風化が叫ばれていたり、防災教育のあり方が叫ばれたりしてますが、私は必要だと思います。ただ、宮古市としての防災教育とするか、中学校区でやるか、各学校でやるか、いろいろやり方はありますし、あとは誰が中心になってやるかなど具体化させるには、なお検討が必要であると考えております。子どもたちに命を守ること、それからやっぱり自然の大きな力を理解する、こういう点について、特に子どもたちには小学校前から、幼児教育あたりから、それなりの指導が必要かと思っております。ということで、考えることをお話ししました。以上です。</p>
	山本市長	<p>はい。今、荒谷委員さんからこのようなお話がありましたが、ほかの委員さん何かご発言ございましたらお願いします。教育長は何かありませんか。</p>
	伊藤教育長	<p>今、荒谷委員さんから大変貴重なご意見いただきましてありが</p>

		<p>たいなと思っております。3.11以降、平成25年ごろから岩手県教育委員会では、防災教育の取り組みを非常に重点として今、県の指針にも出てますけども、まさにそのことを荒谷委員さんからお話があったと思います。県のほうでは三つの柱「生きる、かかわる、備える」という柱でやっています。自分の命、そして周りの命も含めて、命を大事に、ということのをベースにしながら、そして釜石の鶴住居小学校、釜石東地区の例もあるんですけども、小中一体で地域を巻き込んで、総合型の防災訓練やっているとあります。それこそ田老一小、田老一中さんの校長先生もお見えになってますけども、小中連携し、参加をしての合同の避難訓練、そして引き渡し訓練。田老一中の場合は、1階部分が被災・浸水したので、裏手の山を通過して、総合事務所を通過して田老一小まで避難をして、体育館で集まって地区ごとに分かれて引き渡し訓練とか安否確認しているというふうな実践もあります。具体的にこれから出てくるコミュニティ・スクール構想がまさにそれだと思います。中学校区でその学区の小中が連携して、年に1回でもいいと思いますけれども、やはり意識づけのためには、体験を通して学ぶというふうなことが大事だと思います。荒谷委員さんから提言があった内容については、校長先生同士で具体化していきましょう。あとは新里、川井は河川の造成に伴っての通学路の危険性が出ますし、あるいは沿岸地区でいうと地震があったあとには津波もありますし、災害には種類がたくさんありますので、各学校の校長先生のお考えを含めてそれに柔軟に対応できるような危機管理、各学校に合った危機管理のあり方はこの後も続けていくべきだと思います。やはりいろんな災害で学んだこと、地域の方も含めて総合的な避難訓練は、必要だなと思っておりますので地域の実情によって校長先生方同士意見交換しながらぜひ具現化し、来年度には今年度取り組んだ学校もありますので、いろんな事例も発表の機会を設けてやることも必要だと思いますので、今のお考えについて、いろんな校長先生方からも、今後提言や実践についてお聞きしたいと思います。ありがとうございました。</p>
	山本市長	<p>はい、教育委員会としてそういうふうに取り組むことは非常にいいことだと思いますし、また危機管理課を十分にお使いいただきたい。ですから危機管理課をその中に入れていただいて、それでお互いにしっかり市全体として取りこぼしがないようにしたい、というふうに思っております。今後危機管理の方とそれぞれの学校等含めて、あるいは地域含めて防災のあり方についてしっかり体制を整えていきたいというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。荒谷委員さん、よろしいでしょうか。</p>

	荒谷委員	はい。
	山本市長	他にはないようなので本日の協議はこれで終了とさせていただきます。大変限られた時間でありましたので、十分に発言できないこともあったと思いますが、それぞれの立場からいろんな提言等いただきながら、教育を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。それでは、進行を事務局にお返しいたします。お願いします。
6 閉会	菊地教育部長	はい、どうも皆様ありがとうございました。それでは以上をもちまして第1回宮古市総務教育会議を終了させていただきます。大変お疲れさまでございました。